

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市みずき園
(2)施設概要	<p>①所在地 中央区大戸2-7-21</p> <p>②施設の設置目的 心身障害者が身近な地域の施設に通所し、必要な自立訓練や授産活動の場の提供を受け、社会参加の促進を図る。</p> <p>③施設の概要 敷地面積 641.35㎡ 延床面積 326.73㎡ 構造 木造 平屋建 事業内容 生活介護事業(定員26名) 平成22年4月指定 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 平成27年4月指定</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度41,836千円、令和元年度41,976千円、令和2年度41,760千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>＜生活介護事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 3,475人(前年度 3,589人) ・平均利用者数 14.5人(前年度15.0人) ・稼働率 55.7%(前年度 57.5%) <p>＜相談支援事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 23人(前年度24人) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所日数 240日 ・日常生活介護 ・日常健康管理、健康診断、歯科検診 ・日中活動支援(音楽、創作、作業、リラクゼーション、調理) ・園行事(季節行事、社会体験活動) <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械警備業務 ・空調清掃業務

<p>(6) 収支状況</p>	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス等事業 58,430千円 (前年度 56,135千円) ・指定管理料 41,760千円 (前年度 41,976千円) ・その他 642千円 (前年度 663千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 76,662千円 (前年度 75,161千円) ・事務費 2,479千円 (前年度 1,821千円) ・施設管理費 8,676千円 (前年度 7,834千円) ・事業費 4,022千円 (前年度 3,803千円) ・繰入金 5,087千円 (前年度 5,003千円) ・その他 266千円 (前年度 241千円)
<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>法人全体では、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等様々な状況で利用者からのご意見・ご要望を受付ける機会を設けた。</p> <p>施設では、家庭との日々のやり取りである連絡ノートや送迎時に直接顔を合わせたときのお話から、ご意見・ご要望を聞き取るように努めた。</p> <p>ご意見としては、コロナウイルス感染予防に関するご心配の声が多く、施設での対応として、活動時や給食時の座席配置を変更したり、施設内の消毒や換気、さらに送迎車に消毒用アルコールやマスク、ウェットティッシュを常備する等、家庭からの各目線でご提案いただいた。またご家庭のご意見をうかがいながら、やむをえず行事を縮小、中止した。みずき園職員がコロナウイルスに感染したことに伴い、利用者およびご家族のみなさまには、多大なご心配とご迷惑をおかけしたにも関わらず、他の職員や利用者にも一人も感染者がでなかったこと、また3日後に再開の対応が取れたことに対する安堵の声をいただいた。</p>
<p>(8) その他</p>	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
<p>サービス向上のための具体的取組として、事故防止のための方策を講じた。また、ボランティアとの連携を深めた。</p>	<p>利用者のみなさまが安全で安心して過ごすことができるよう、毎日の帰りの会で情報を共有し、毎月「ヒヤリハット」事例を振り返り事故防止に努めた。</p> <p>日常の活動では、コロナウイルス感染予防のため縮小、中止になってしまいうこともあったが、長くお会いできていないボランティアさんにハガキを出して近況を報告したり、音楽ボランティアさんから演奏DVDをいただき観賞したり、いつもとは違う方法でコミュニケーションをとり、関係を続けることができた。</p>
<p>利用率向上のための具体的取組</p>	<p>相談支援事業者との情報交換を行い、また特別支援学校進路相談会は中止となったが電話連絡で近況を報告しあい、新規利用者受入れのため、働きかけを行った。</p> <p>長期欠席者やコロナウイルス感染予防のため当面欠席されていた利用者には、定期的に電話連絡を行い、みずき園の近況報告をお伝えしたり、園だよりをお届けした。</p>
<p>利用者とのトラブルの未然防止についての苦情受付体制等、適切な対応の図れる体制づくり</p>	<p>職員が情報を共有できるように、毎日帰りの会で利用者動向の振り返りを行った。また毎月の会議では「ヒヤリハット」と「気になる支援」をまとめ、今後どのような対応をすべきか意見を出しあい、検討した。</p> <p>利用者からの苦情については、誠意をもって対応し、苦情の解決と業務の改善に努めた。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

利用者の日常生活(食事・排泄・移動・衛生等)の中で、個別性のある援助の提供に努め、「健康の維持と快適な生活」に寄与できるように支援した。

令和2年度は、新規利用者1名を迎え、3名の利用者がお亡くなりになったため退所した。コロナウイルス感染予防の影響が大きく、外出が怖いとお休みする方もおり、1日平均利用者数は前年度15.0人から14.5人に減少した。反対に、みずき園に行けなくなったら家で見ることができないと不安に思うご家族からの声もあった。

活動においては、利用者が楽しみにしている行事や活動を中止しなければならない状況があり、みずき園で20年以上続けてきた大きな行事である音楽会は残念ながら中止とした。日々の活動も、利用者の様子をこれまで以上に注意して過ごす毎日だった。

経費に関しては、引き続きみずき園の運営・活動に必要な支出について精査し、節電対策(照明器具の適切な使用・適度な室温管理の徹底・ロールカーテンの設置等)および節水対策(日中こまめに蛇口の確認、トイレの自動水洗の中止、使用水量のチェック等)を行い、経費の縮減に努めた。

虐待防止の取組として、職場内研修の実施、法人主催研修の受講、外部オンライン研修の受講等を行った。外部オンライン研修については、体験後すぐに導入について検討することができた。また、意思決定支援を毎年計画的に行っており、利用者の意向に沿った支援に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局福祉部障害政策課)

総合評価 (B) ※A~D

利用者の個々のニーズや状況に応じたサービスを提供した。重度重複障害のある利用者が多いことを踏まえ、利用者の健康管理を考え、体調を整えるプログラムや作業、文化活動等を利用者のニーズに合わせて行った。

サービス向上のために行事等の満足度、嗜好調査等のための利用者アンケートを行った。

節電対策、節水対策を行い、施設管理費の削減を行った。

職員間において「ヒヤリ・ハット」の情報共有、対応策についての意見交換を行った。

施設の維持管理のために毎月1回職員で施設、設備の点検を行った。

以上のこと等より総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。